

学童保育・ワークショップ

24名

学童
保育

1-5年

- 日時: 2013.7.24 15:30~17:30
- 場所: 横浜市・学童保育
- 対象: 学童保育の児童: 24名 (1~5年生)
- 講師: みらい育ティーチャー3名
- 絵本「じっとみて。」の制作



レポート

● 残像体験(ウォーミングアップ)

みんな何が始まるのか落ち着かず、ざわざわした中で、残像が見えた人はほんの数名(4.5年生中心)でした。

しかし、見えなかった子は、見えた子の声を聞き、触発されたようで、2回目はとても集中して取り組むことができました。

● 絵本制作

ほとんどの児童が、前向きに取り組みましたが、数人「絵本は嫌い」「絵をかきたくない」という理由で、描くことを拒絶した児童が数名いました。「描きなくなったら描いてね。」と声をかけ、決して無理をしないように配慮しました。みんなが始めると、仕方なさそうに色鉛筆を持ちましたが、やり始めると、どんどん夢中になっていき、最後は自ら発表したいというほど前向きな態度に変化しました。

また、最初落ち着かない児童が数人いましたが、いずれも席につき、かなり長い時間集中して絵を描くことができました。特に最後のページでは、他者の声も聞こえないフロー状態になってしまうほど集中できました。

● コミュニケーション

各シーンの絵が完成するたびに、感想を書き合うための交換が活発に行われました。たとえば、自分の書いた絵の感想を求めて移動する場面が多々見受けられたり、積極的に「書いて!」という行動をとることができました。主体的&積極的なコミュニケーションが実現しました。

● 絵本完成

否定のない環境の中、誰もが自由に個性を発揮でき、自分のストーリーを絵にすることができました。

また、24人全員がすべてのページを完成させ、世界で一冊の絵本が完成しました。

● 最後の発表は、時間の都合で希望者のみとなりました。限られた時間内で、全員が発表できるにはどうするか、が今後の課題となりました。(解決策: 2員1組での発表、グループ内での発表など)

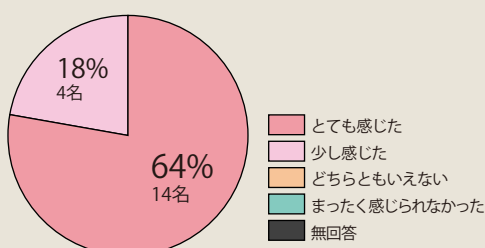
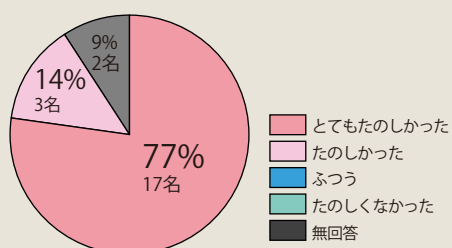


友達と感想を書き合う絵本交換が積極的に行われています。

アンケート集計

(22名回答)

1. 絵本制作の率直な感想をお聞かせください。 2. 制作を通じて、自己肯定感(いいな、自分!)は感じられましたか?



感想

- ・ またやりたいです。(2年生/女)
- ・ すごくたのしかった(1年生/男)
- ・ たのしかった。上手にできた(4年生/女)
- ・ えほんをつくったのがたのしかった(1年生/男)
- ・ 自分の本ができておもしろかった(1年生/男)